

## わたしとおねえちゃん



昨日のレポート「ともみとともに」でも話題になった林京香さん妹・千陽さんの作文を、「作者」了解のもとで紹介したい。写真は2013年11月、名古屋市立大の大学祭。このとき京香さんは小学2年、千陽さん幼稚園。作文は千陽さんが小学1年に書いたものだ。改行など、ほんのすこし修正。

「おねえちゃん。おねえちゃんはわたしがほしいシールをいつも「いいよ」と目でキョロッとあいずしてゆずってくれる。やさしくてだいすき。あさ、わたしがごはんをはやくたべれないときは、そばにいて目でしんぱいしてくれたり、声でおうえんしてくれる。おねえちゃんといっしょにぶんだんでいきたいけど、雨の日やじゅんぴにじかんがかかっていっしょにぶんだんでいけないときはさみしいよ。がっこうのケアルーム（おねえちゃんがきゅうけいするへや）は、「かってに入ってはいけない」ってせんせいに言われてるけど、おねえちゃんにあいたいからまどからのぞいたり、おねえちゃんをろうかで見つけたときはおそうじちゅうでもすぐに「おねえちゃん！」ととんでいっておはなしするよ。おねえちゃんとおなじがっこうでうれしいな。おねえちゃんのおともだちともなかよくなれてよかった。クラスのおともだちからは「おねえちゃんは何でびょうきなの？」ときかれるけど、わたしは「びょうきじゃないよ。しょうがだよ」とおしえてあげたよ。びょうきはくすりをのんでなおるもので、しょうがいはなおらないものだとおもうから。なおたらうれしいけど、なおらなくてもおねえちゃんだいすき。できればおねえちゃんとブランコやつなをもってぶらさがるゆうぐでいっぱいあそびたい。手をつないであるいたり、すきっぷしたい。アンビューは1、2、3のタイミングでおせるよ。はなきゅーちゃんできちとはなはすえるよ。のどのきゅういんはちょっとしんぱいだけどれんしゅうしたい。おねえちゃんはきゅうしょくもみんなといっしょのものをミキサーにかけていろいろからたべてるよ。わたしもときどきよるごはんやジュースをいれてあげるよ。みんなでごはんを食べるときはだいすきなおにくやくだものをわたしがくちに入れてあじみしてもらおうよ。おねえちゃんはおおとむらさきがすき。わたしはみずいろとうすむらさきがすき。ふれあいキャンプでおねえちゃんといっしょにおふろにはいりたかったな。来年のふれあいキャンプでおふろにいっしょにはいれるといいな。」

@文中の「ぶんだん」（分団）は名古屋の小学校で地域ごとまとめて登校する単位、「アンビュー」は空気を送る医療機器、「はなきゅー」は鼻水などの吸引機。

（2017年6月8日）